



夢と希望を語ろう

日本PCA教育振興会 第11回大人の教育シンポジウム

「色彩は心を豊かにする」

～豊かな心のあり方～

- 日時 平成29年12月6日(水) 13:00~14:00 開場 / 12:30
- 会場 明秀館(絹谷 幸二氏ご実家) 奈良県奈良市元林院町4番地(猿沢池畔) ※案内図参照
- 参加費 無料



蒼天富嶽 祝花輪

- 主催 日本PCA教育振興会
- 後援 文部科学省・奈良県教育委員会・奈良県PTA協議会・株式会社教育新聞社・株式会社教育家庭新聞社・公益財団法人アジア刑政財団本部支部「期成会」
- 協賛 大塚製薬株式会社



祝 辞



文部科学大臣
林 芳正

このたび、日本P C A教育振興会主催の下、第十一回大人の教育シンポジウム「夢と希望を語ろう『色彩は心を豊かにする』～豊かな心のあり方～」が開催されますことを心からお慶び申し上げます。

P C Aの皆様におかれましては、未来を担う子供たちの健全育成のため、地域社会全体で見守り、育てていくための様々な活動を展開していただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

教育は「未来への先行投資」であり、教育再生は政府の最重要課題の一つです。文部科学省では、教育再生を実現するための取組を進めております。

また、子供を取り巻く環境が複雑化・困難化する中、学校のみならず社会総掛かりでの教育を実現することが必要となっています。

こうした状況を踏まえ、本年三月、幅広い地域住民

の参画により、地域全体で子供たちの成長を支える「地域学校協働活動」を推進するため、社会教育法が改正されました。本法律では、連携協力体制の整備や、地域と学校をつなぐ「地域学校協働活動推進員」に関する規定が整備されております。

文部科学省としては、法改正を踏まえ、今後、地域学校協働活動が全国的に実施されるよう一層の施策の推進を図ってまいります。その際に、P C Aの皆様方をはじめとする幅広い地域住民に御参画いただくことが極めて重要であると考えております。今後も、日本P C A教育振興会の皆様方が、これまで培ってこられた豊富な知識と経験を生かして、子どもたちが安心、安全に生活し、夢をもって成長していける社会の実現に向けて、引き続き御尽力くださいますようお願いいたします。

最後になりましたが、本日のシンポジウムが、皆様にとって実り多きものとなりますことを期待いたしますとともに、日本P C A教育振興会のますますの御発展を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞



奈良県知事
荒井 正吾

本日、日本P C A教育振興会「第11回大人の教育シンポジウム」が盛大に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

また、鈴木会長をはじめ、お集まりの皆様には、日ごろから奈良県政の推進にご理解・ご支援をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

貴振興会におかれましては創設以来、家庭や地域における教育について、広く調査・研究され、教育に関する提言やP T A活動等の支援に尽力されておられます。また、この度のシンポジウムでは、「夢と希望を語ろう『色彩は心を豊かにする』～豊かな心のあり方」をテーマに、子どもの健やかな成長のために、大人が教育を考える機会を提供いただきますことに、深く敬意を表します。

奈良県では、平成28年3月に「奈良県教育振興大綱」

を策定しました。この大綱では、目指す人間像の1つとして「自他を尊び、地域を尊ぶ人～『自尊』『他尊』『地尊』の人づくり～」を掲げ、自尊感情を育み、他者や異なる価値観、歴史、文化など多様性を尊重する自他敬愛の精神とともに、自らの地域の歴史や文化に愛着や誇りをもつ人間像を目指して、教育行政を進めているところです。

また、9月から11月までの3ヶ月にわたり、「第32回国民文化祭・なら2017」と、「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」を、全国で初めて一体開催いたしました。文化芸術が障害のある人の活力の源になるとともに、障害のある人となない人の新たな関係性が生まれることを切に期待しています。

皆様方には、今後とも、奈良県政の推進に、引き続きご支援を賜りますよう、お願いいたします。

結びに、本シンポジウムが実りの多いものとなりますことを期待するとともに、日本P C A教育振興会の今後ますますのご発展と、皆様方のご健勝、ご活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。

◎ あいさつ



日本PCA教育振興会
会長 鈴木 仁

教育環境や社会環境が変化する中、これからの子どもたちに必要なのは自分で課題を見つけて自ら学び、考え、行動するという主体性と、他人を思いやる気持ちや感動する心という豊かな人間性ではないでしょうか。

スマホやゲームなどバーチャルの世界がもてはやされる昨今、子どもたちにとって大切なことは、美しい絵画や本物の芸術に触れ、心をときめかせるような生の体験です。そこで得る感動は、バーチャルな世界とは大いに異なるもの。自分の体を通して喜びや悲しみ、痛みを全身で受け止めることにより、豊かな感性が育まれていくと考えています。このような機会を数多くつくり出すことが、私たち大人の使命ではないかと思えます。

そこで、今回のシンポジウムでは豊かな心のあり方を探るべく、「夢と希望を語ろう」と題して奈良で開催いたします。当日は「色彩は心を豊かにする」をテーマに、教育の専門家・寺脇研氏と洋画家・絹谷幸二氏が対談形式でお話を進めていきます。

ご案内の通り、寺脇氏は1975年に文部省（当時）に入省。在任中は初等中等教育政策に尽力され、ゆとり教育をはじめ、脱偏差値、学校週5日制、総合的な学

習の時間、生涯教育など時代の変化に対応した新しい教育のあり方を推進されました。

また、寺脇氏は映画評論家としての一面もお持ちで、これまでに教育や生き方、映画に関する著書も多数執筆されておられます。

一方、絹谷氏はエネルギーで色彩に富んだ独自の画風で多くの人を魅了、画家の登龍門である安井賞を歴代最年少で受賞されたという素晴らしいご経歴をお持ちです。

1998年には長野冬季オリンピックのポスターを制作、2008年には若手画家の育成を目的とする絹谷幸二賞を創設したほか、文化功労者として美術と社会を結びつける様々な社会貢献活動を行なっておられます。ちなみに、今回の会場である「明秀館」は絹谷氏のご実家であり、奈良らしい情緒があふれる街並みの一角にあります。

対談形式、会場は元料亭と、これまでとは趣を異にするシンポジウムとなりましたが、教育と芸術のスペシャリストであるお二方が色彩をテーマにどのようなお話を展開されるのか非常に興味深く、私も大変楽しみにしております。

今回のシンポジウム開催にあたり、様々なご協力をいただきました多くのご関係者の皆様に心から感謝を申し上げますと共に、本シンポジウムが実りある会となることを願っております。

◎ プログラム

■ 12:50 開会式

- ・ 会長あいさつ
- ・ 文部科学大臣あいさつ
- ・ 奈良県知事あいさつ

■ 13:00~14:00 対 談「色彩は心を豊かにする」～豊かな心のあり方～

絹谷 幸二氏

◎日本芸術院会員 ◎文化功労者
◎洋画家



東京藝術大学大学院修了。洋画家。日本芸術院会員。文化功労者。1998年長野冬季五輪公式ポスター作成。2008年絹谷幸二賞創設。東京芸大名誉教授。2016年12月、大阪の梅田スカイビル・タワー ウェスト27階に「絹谷幸二天空美術館」がオープンした。

寺脇 研氏

◎元文科省大臣官房審議官
◎京都造形芸術大学教授



東京大学法学部卒。1975年文部省入省。ゆとり教育を推進。2001年審議官、02年文化庁文化部長。京都造形芸術大学教授。映画評論家。NPO法人日本映画映像文化振興センター理事長。教育・生き方・映画に関する著書多数。

■ 14:00 閉会式

(敬称略)



大人の教育シンポジウム「夢と希望を語ろう」の歩み

第1回(2002年)21世紀の児童生徒を育てるための大人の役割／東京・虎ノ門
 第2回(2003年)まことの対話を取り戻そう／札幌市
 第3回(2006年)子どもたちのための安全な街づくり／東京・内幸町
 第4回(2007年)IT時代の教育としつけを考える／船橋市
 第5回(2008年)食育と子育てについて考える／都城市

第6回(2009年)地域の力を生かした教育を考える／東大阪市
 第7回(2010年)地域にやさしい暮らしを考える／那須高原
 第8回(2011年)子どもをどうほめるか、どう叱ればよいか／那覇市
 第9回(2015年)地域で子どもが学ぶためのPCAの役割／東京・代々木
 第10回(2015年)地域で子どもを育てよう／東京・代々木

日本PCA教育振興会(Japan Parents and Citizen Association for Education)は1999年5月に設立されました。家庭教育・学校教育の支援を通じて、青少年を健全育成しようというのが目的です。教育改革が進行し、教育がますます多様化・複雑化する中で、地域の大人の力を活用すべきだ、という提言が中央教育審議会や生涯学習会の答申などに見られます。大人たちが積極的に青少年の教育に参画する必要があるというのです。

と同時に、心の教育が叫ばれていますが、倫理や道徳の欠如は単に子どもの問題ではなく、大人の問題でもあるわけです。



これまでの主な活動は次の通りです

- 教育ボランティア制度発足
- 教育ボランティア補償制度
- 学校支援者補償制度
- ホームページ「彩遊記」の提供及び学校とのネットワークの提供
- こども夢基金助成事業「こどもバーチャル体験記 お仕事図鑑」作成
- 日本-スウェーデン教育シンポジウム(文部科学省・スウェーデン大使館後援)
- 文部科学省委託事業「生涯学習政策に関する調査研究事業—視覚障害者等が地域の中で自立と社会参加を実現するための学習環境ニーズの調査研究」

日本PCA教育振興会役員

顧問 島村 宣伸(元文部大臣)
 馳 浩(元文部科学大臣)
 明石 要一(千葉敬愛短期大学長)

相談役 片桐 良雄(長野) 三浦 規雄(千葉)
 橋本 量太郎(大分) 薄田 泰元(新潟)
 岡部 観栄(大分)

会長 鈴木 仁(栃木)

副会長 田久保 健美(千葉) 阿多 祥一(宮崎)

専務理事 島田 益吉(東京)

常務理事 佐保 博文(大阪) 狐崎 麻男(千葉)
 田口 豊實(青森)

監事 木下 健介(東京) 小林 庄市(福井)
 松下 文芳(北海道) 丸 洋栄(東京)

理事 田中 康司(岐阜) 山田 誠香(大阪)
 川端 政広(福岡) 島袋 光尋(沖縄)
 三角田 慎二(三重) 長谷部 衡平(千葉)
 荒川 律(栃木)

事務局長 東 洋子(東京)

〒156-0056 東京都世田谷区八幡山3-6-2
 ☎ 03-5317-4131 FAX 03-3304-2188

「犯罪なき繁栄」をめざして

公益財団法人 アジア刑政財団本部支部「期成会」



ASIA
 CRIME
 PREVENTION
 FOUNDATION

アジア刑政財団(Asia Crime Prevention Foundation=ACPF)本部支部「期成会」は2002年9月に発足しました。日本国内支部としては29番目。会員は現在50人です。アジア刑政財団は、国連アジア極東犯罪防止研修所(UNAFEI、本部：東京昭島市)の活動を支援するために1982年に設立された国連NGO(非政府組織)です。旗印は世界の「犯罪なき繁栄」。その国際貢献ぶりは世界各国から注目を浴びています。東京五輪が開かれる2020年4月、京都で第14回国連犯罪防止会議(コングレス)が開かれます。140ヶ国から5千人の参加が見込まれています。毎年発行される「国際貢献カレンダー」は絹谷幸二画伯の作品を使用しています。2018年1月、手帳型のデータブック「安全な国 日本」2018年版(頒価500円)を発行します。

アジア刑政財団本部役員

会長 堺屋 太一(元経済企画庁長官、作家)

理事長 日野 正晴(元名古屋高検検事長、元金融庁長官、弁護士)

副理事長 樋渡 利秋(元検事総長、弁護士)

事務局長 山下 輝年(元国連アジア極東犯罪防止研修所長、元最高検検事、公証人)

【本部】〒196-0035 東京都昭島市もくせいの杜2-1-18
 【事務局】国際法務総合センター アジ研・法総研棟内
 ☎ 042-543-7725 FAX 042-543-7726

アジア刑政財団本部支部「期成会」役員

名誉会長 絹谷 幸二(本部理事)

会長 鈴木 仁(本部理事)

副会長 田久保 健美 山田 清司 島田 益吉

幹事 大慈彌 功 大塚 晴寿 狐崎 麻男
 鈴木 了 村上 雅則 津覇 好弘

監事 大久保 忠男

名誉顧問 堤 哲(本部評議員)

〒274-0825 千葉県船橋市前原西2-5-2
 狐崎麻男税理士事務所内
 ☎ 047-475-2511 FAX 047-475-2512